

2022年度 第3四半期 決算説明会

2023年2月7日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2022年度 第3四半期（10月-12月）実績

主に為替のプラス影響により増収となるものの、P&S事業における消耗品販売減による粗利減や販管費の増加、部材コストの高騰などにより、大幅な減益となる

◆ **売上収益** **2,168億円/+17.5%**（前年同期比）

✓ 為替が円安に推移したことによるプラス影響が増収に大きく寄与

◆ **事業セグメント利益** **160億円/ ▲31.8%**（前年同期比）

✓ P&S事業では、価格対応の効果があったものの、本体・消耗品の売上構成の変化や消耗品販売減にともなう粗利減により大幅な減益

✓ 販管費の増加や部材コストの高騰などが利益を圧迫

2022年度 通期業績予想

主にP&S事業における第3四半期の下振れ分の反映と第4四半期の計画を見直し、売上・事業セグメント利益ともに下方修正

2022年度 第3四半期（10月-12月）業績

主に為替のプラス影響により増収となるものの、
P&S事業における消耗品販売減による粗利減や
販管費の増加、部材コストの高騰などにより、大幅な減益となる

単位：億円

	21Q3	22Q3	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,845	2,168	324 (78)	17.5% (4.2%)
事業セグメント利益	235	160	▲75 (▲68)	▲31.8% (▲29.0%)
事業セグメント利益率	12.8%	7.4%		
その他の収益・費用	13	55	42	
営業利益	248	215	▲33	▲13.3%
営業利益率	13.5%	9.9%		
税引前利益	252	219	▲33	▲13.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	174	127	▲47	▲27.1%
USD	113.60	141.16	27.56	
EUR	130.39	143.74	13.35	

2022年度第3四半期 事業セグメント別実績

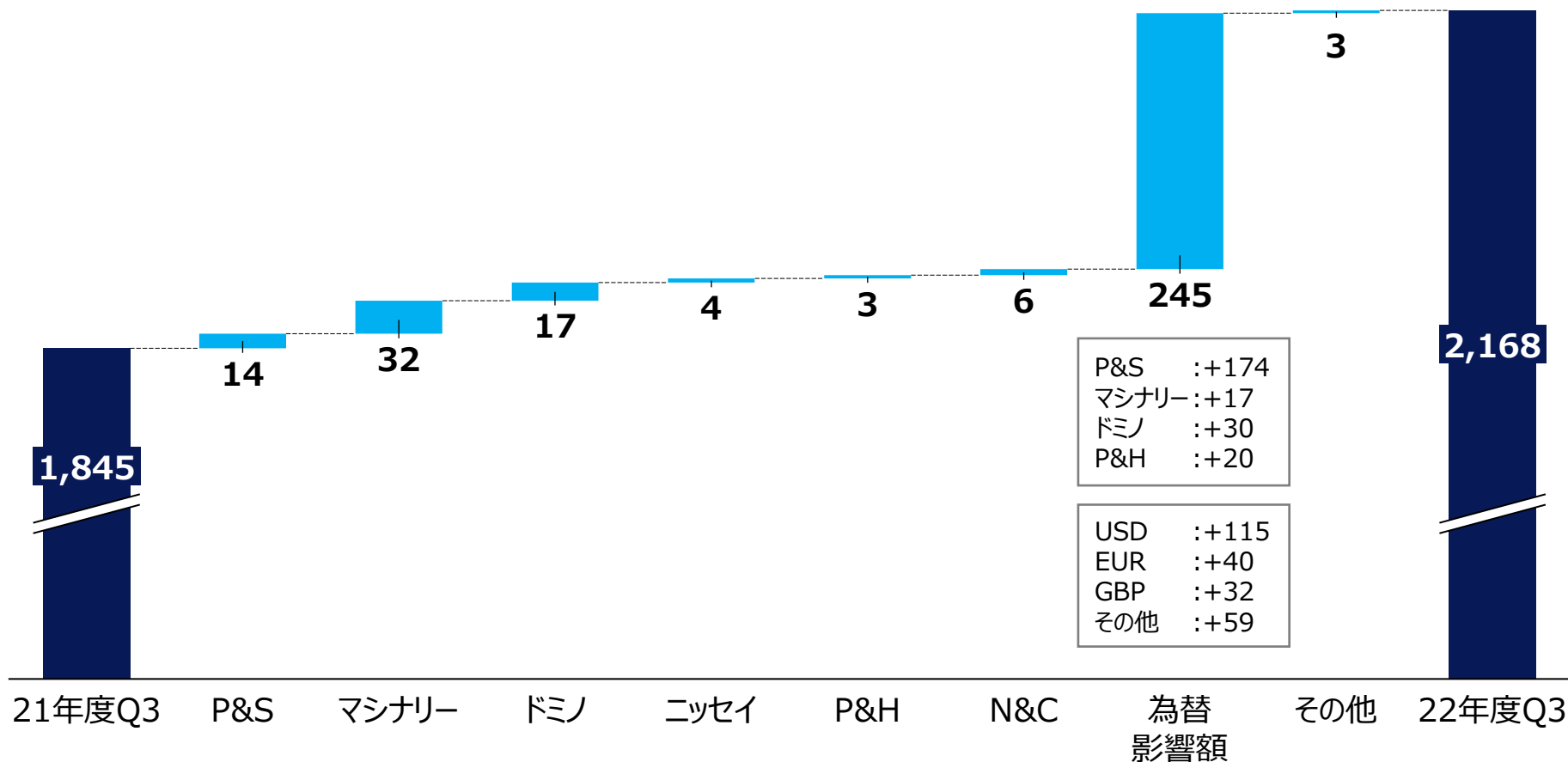
単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21Q3	22Q3	増減	21Q3	22Q3	増減	21Q3	22Q3	増減
P&S	1,149	1,337	188	178	91	▲87	179	102	▲77
マシナリー	208	257	49	28	28	0	28	26	▲2
ドミノ	207	255	48	8	11	3	8	3	▲5
ニッセイ	54	61	7	4	7	3	4	7	2
P&H	113	137	24	15	21	6	16	21	5
N&C	85	91	6	0	2	1	12	1	▲11
その他	28	31	3	2	2	0	2	55	54
合計	1,845	2,168	324	235	160	▲75	248	215	▲33

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

主に為替のプラス影響により増収となる

単位：億円

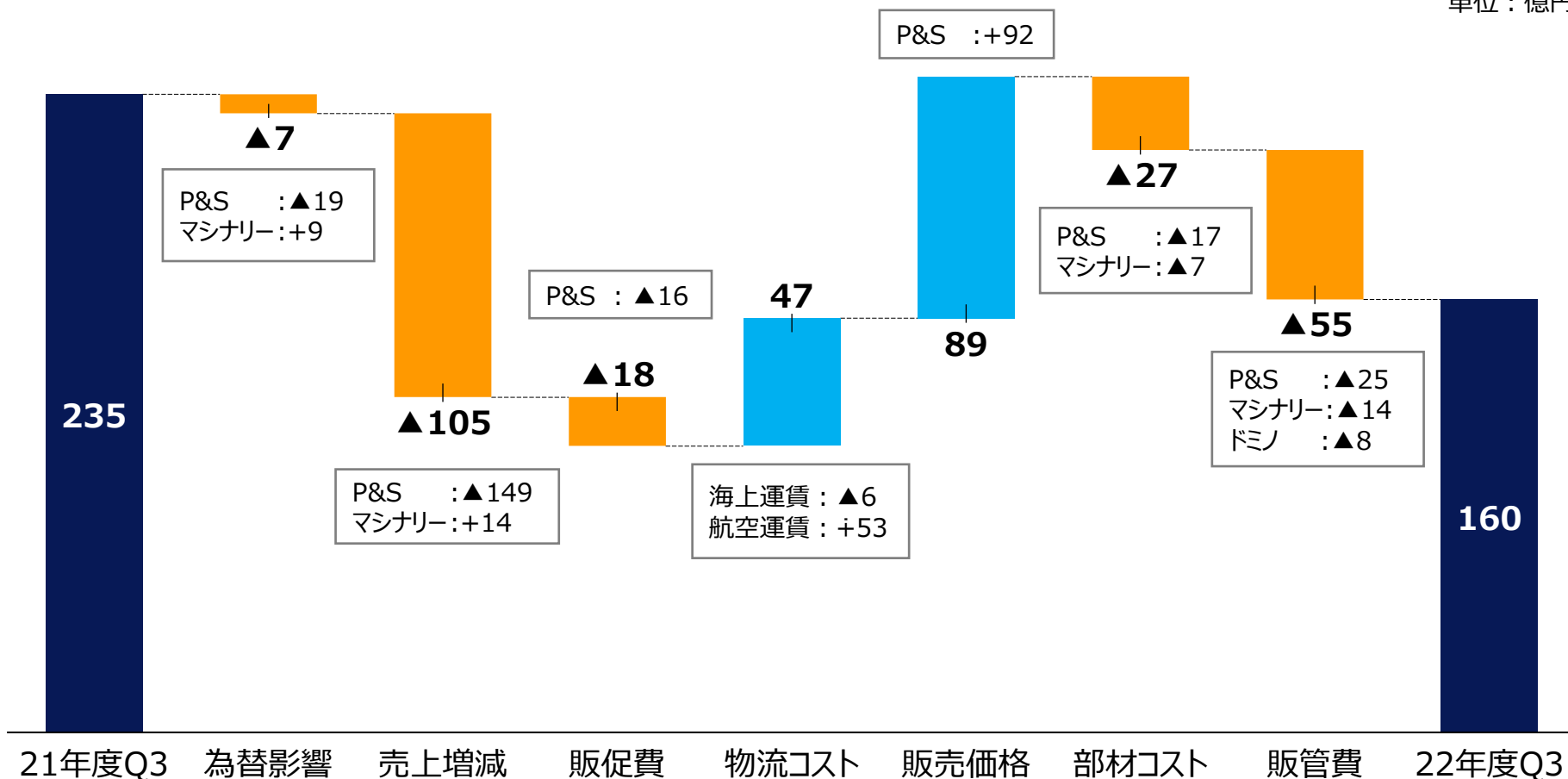


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2022年度第3四半期 事業セグメント利益の増減要因

主にP&S事業における価格対応の効果があったものの、
本体・消耗品の売上構成の変化や消耗品販売減にともなう粗利減に加え
販管費の増加、部材コストの高騰などにより、大幅な減益となる

単位：億円



2022年度 第3四半期累計（4月-12月）業績

為替のプラス影響に加え、主にP&S事業が堅調に推移したことにより、増収となる事業セグメント利益は、P&S事業における価格対応の効果があったものの、消耗品販売減にともなう粗利減や、部材コストの高騰、販管費の増加などにより、大幅な減益となる

単位：億円

	21年度 Q3累計	22年度 Q3累計	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	5,350	6,135	785 (124)	14.7% (2.3%)
事業セグメント利益	729	520	▲210 (▲259)	▲28.7% (▲35.5%)
事業セグメント利益率	13.6%	8.5%		
その他の収益・費用	31	70	39	
営業利益	760	590	▲170	▲22.4%
営業利益率	14.2%	9.6%		
税引前利益	768	601	▲166	▲21.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	543	430	▲113	▲20.8%
USD	111.38	135.40	24.02	
EUR	130.85	140.42	9.57	

2022年度Q3累計 事業セグメント別実績

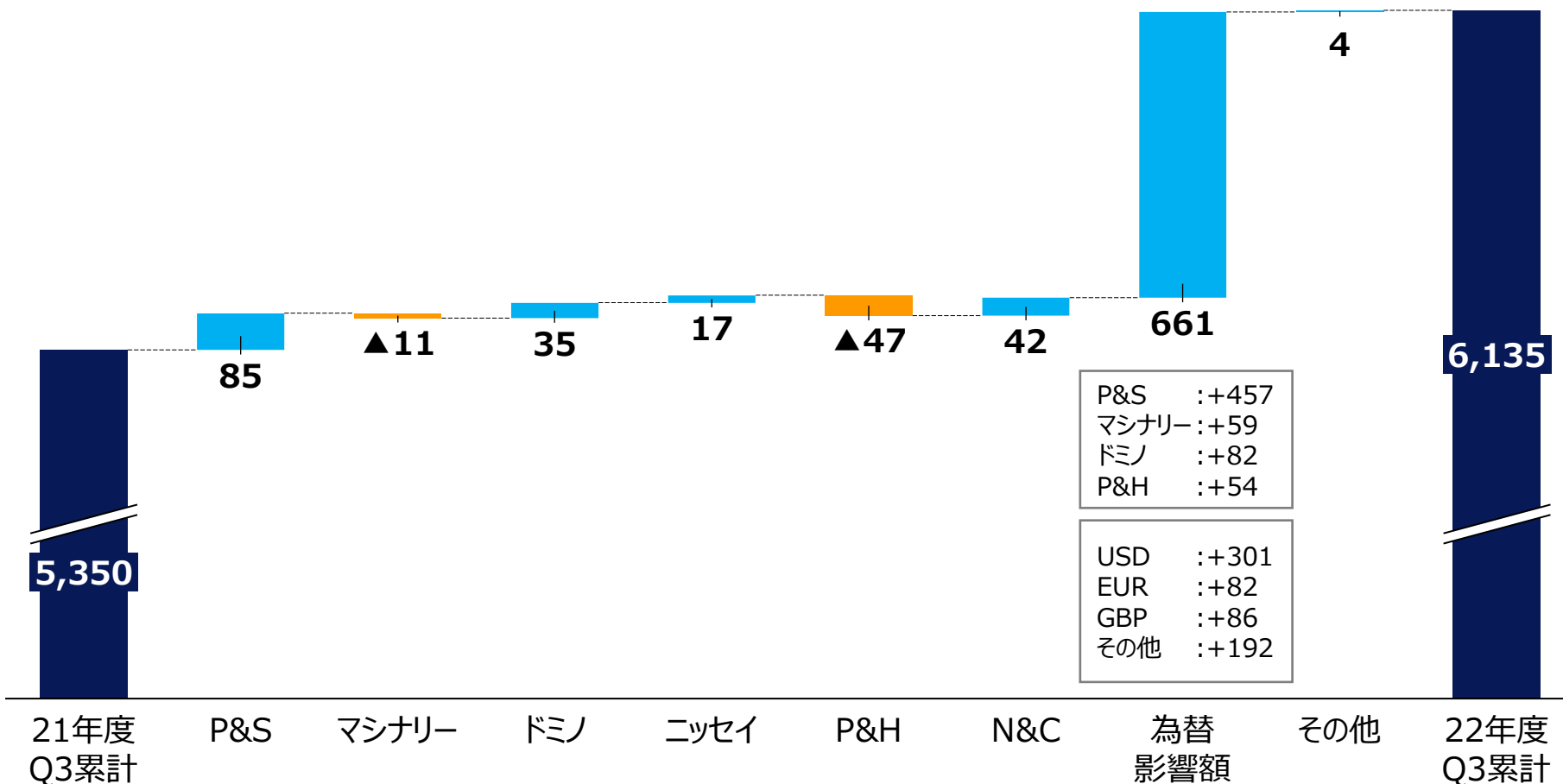
単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	21年度 Q3累計	22年度 Q3累計	増減	21年度 Q3累計	22年度 Q3累計	増減	21年度 Q3累計	22年度 Q3累計	増減
P&S	3,201	3,742	542	501	320	▲181	506	326	▲180
マシナリー	683	731	48	106	80	▲25	106	85	▲21
ドミノ	626	743	117	52	41	▲11	51	40	▲10
ニッセイ	154	180	25	14	19	5	15	19	5
P&H	389	395	7	73	48	▲25	74	49	▲25
N&C	218	260	42	▲19	5	25	3	10	7
その他	79	83	4	4	7	3	6	61	55
合計	5,350	6,135	785	729	520	▲210	760	590	▲170

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

主に為替のプラス影響により増収となる

単位：億円

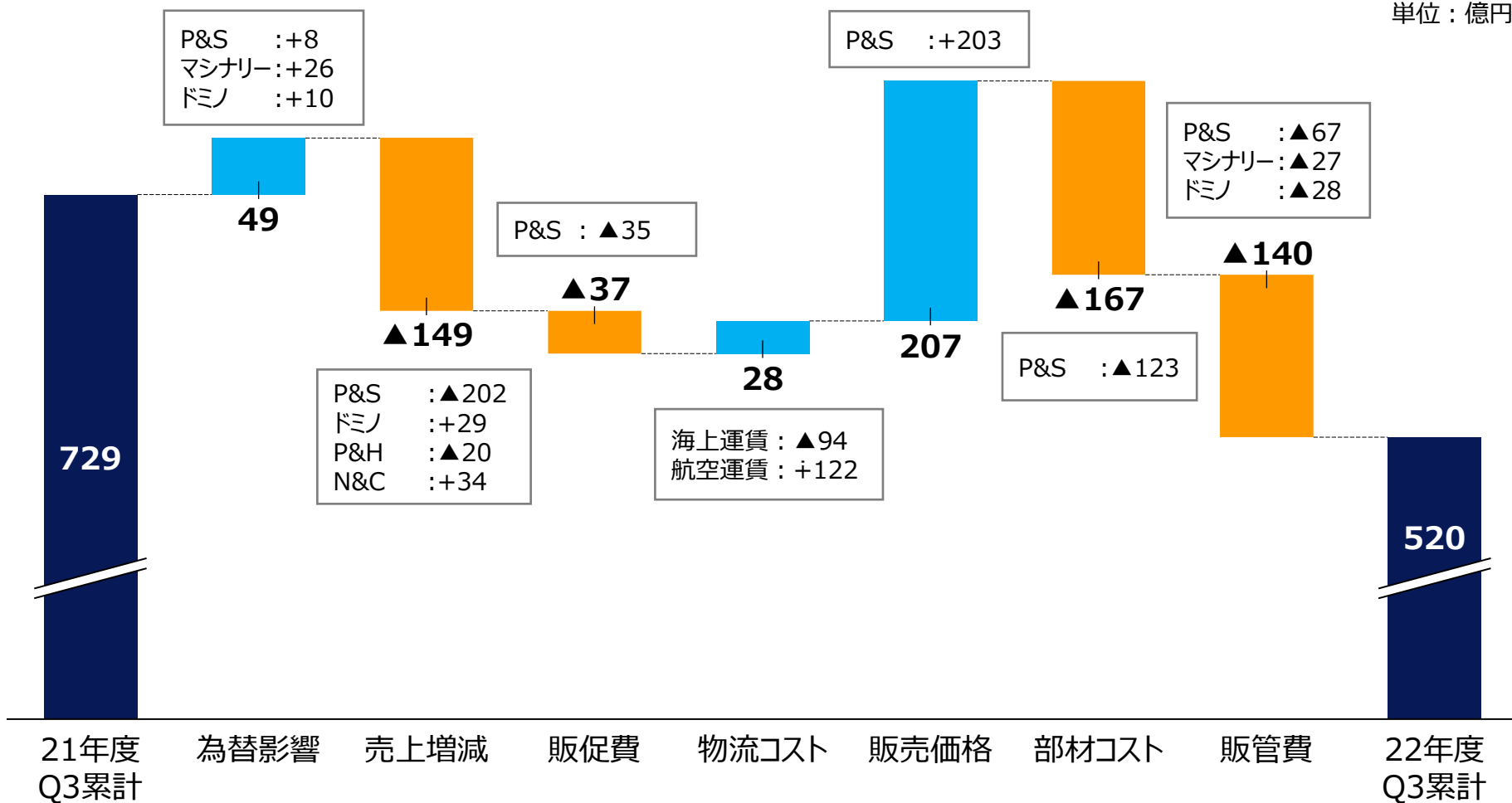


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2022年度Q3累計 事業セグメント利益の増減要因

価格対応の効果や為替のプラス影響があったものの、主にP&S事業における本体・消耗品の売上構成の変化、消耗品販売減にともなう粗利減や、部材コストの高騰、販管費の増加などにより減益となる

単位：億円



2022年度 通期業績予想

主にP&S事業における第3四半期の下振れ分の反映と第4四半期の計画を見直し、
売上・事業セグメント利益ともに下方修正

単位：億円

	前回予想	22年度 今回予想	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率	21年度 実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	8,400	8,250	▲150 (▲206)	▲1.8% (▲2.5%)	7,109	1,141 (346)	16.0% (4.9%)
事業セグメント利益	700	650	▲50 (▲62)	▲7.1% (▲8.9%)	846	▲196 (▲228)	▲23.1% (▲26.9%)
事業セグメント利益率	8.3%	7.9%			11.9%		
その他の収益・費用	30	80	50		9	71	
営業利益	730	730	0	0.0%	855	▲125	▲14.6%
営業利益率	8.7%	8.8%			12.0%		
税引前利益	730	730	0	0.0%	864	▲134	▲15.5%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	510	510	0	0.0%	610	▲100	▲16.4%
USD	134.92	135.13	0.21		112.86	22.27	
EUR	137.61	139.67	2.06		131.01	8.66	

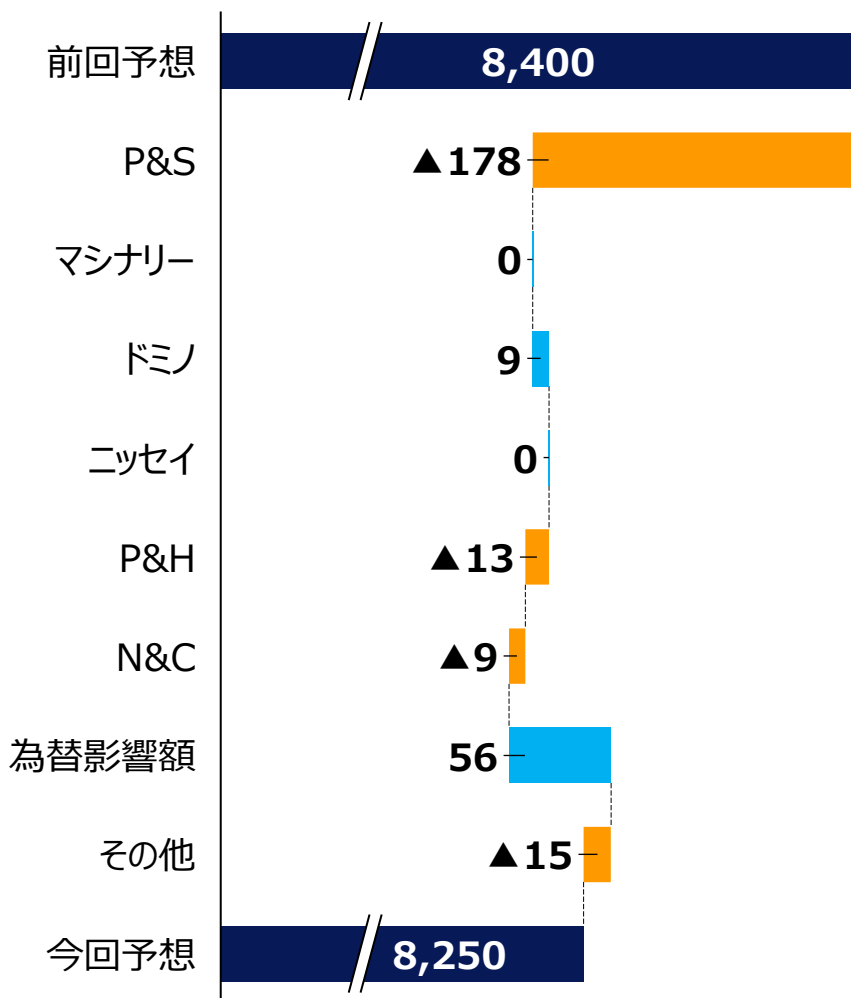
2022年度通期 事業セグメント別予想

単位：億円

	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	前回予想	22年度 今回予想	増減	前回予想	22年度 今回予想	増減	前回予想	22年度 今回予想	増減
P&S	5,132	4,993	▲139	430	370	▲60	430	376	▲54
マシナリー	1,053	1,053	0	135	135	0	136	136	0
ドミノ	966	988	22	43	47	4	42	47	5
ニッセイ	234	234	1	18	18	0	16	17	1
P&H	517	508	▲9	60	60	0	60	61	1
N&C	361	352	▲9	4	1	▲3	4	4	0
その他	137	122	▲15	10	19	9	42	89	47
合計	8,400	8,250	▲150	700	650	▲50	730	730	0

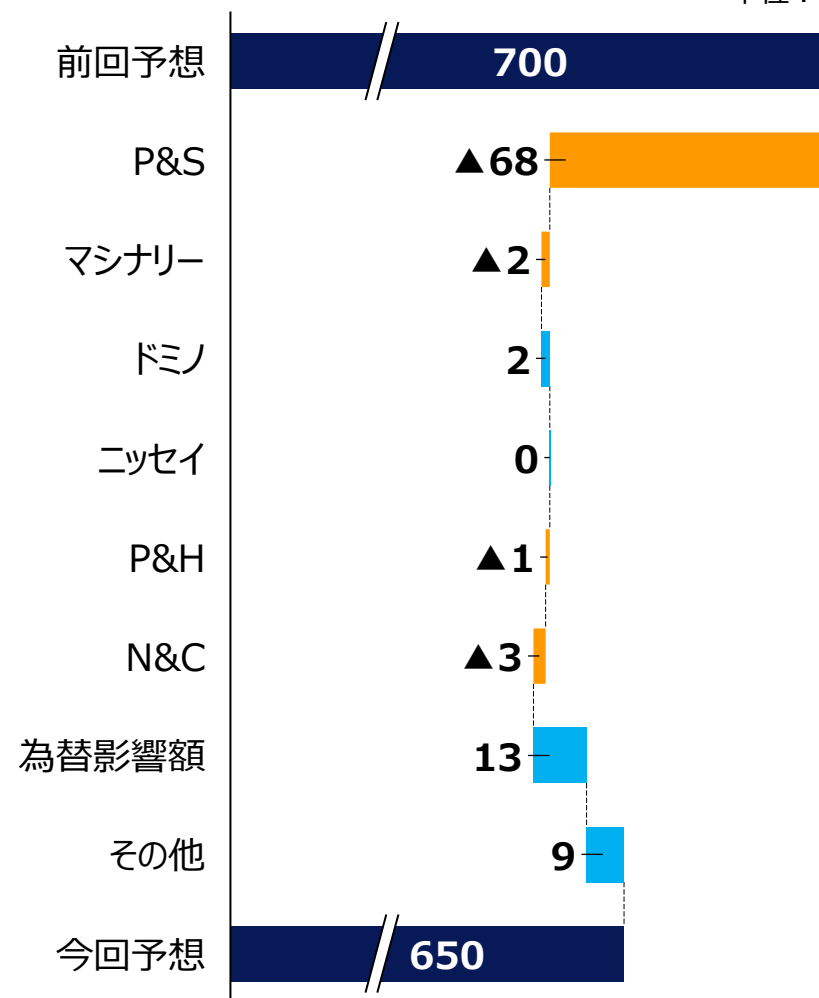
※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

売上収益の増減



事業セグメント利益の増減

単位：億円



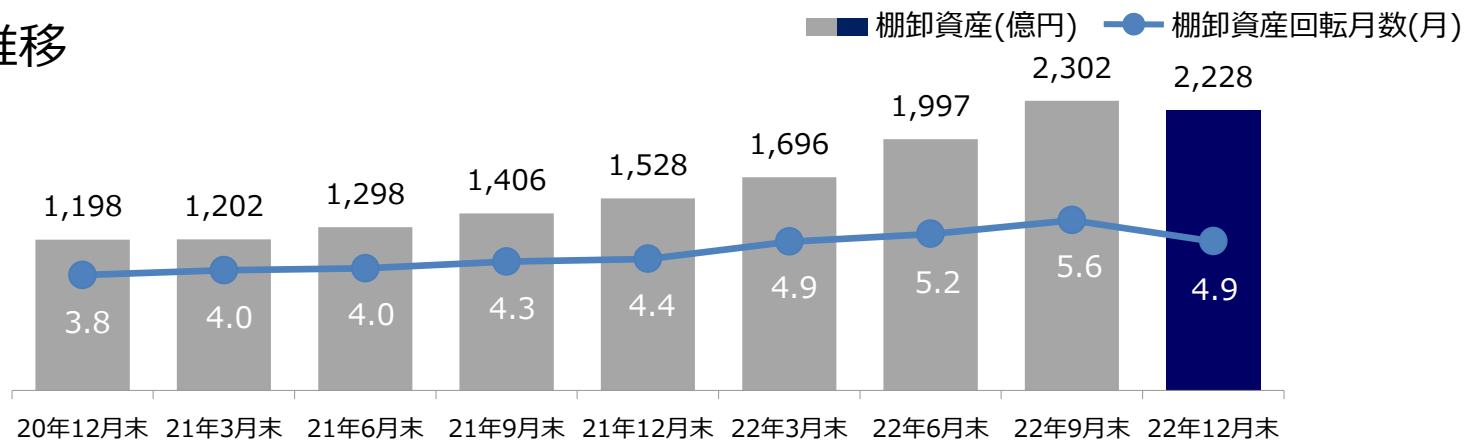
※増減額は為替影響を除いた実質ベース

単位：億円

	22年3月末	22年12月末	増減
流動資産	4,767	5,027	260
現預金	1,679	1,077	▲602
棚卸資産	1,696	2,228	532
非流動資産	3,344	3,405	61
負債合計	2,499	2,533	34
有利子負債	408	432	23
株主資本	5,611	5,899	287
総資産	8,111	8,432	321

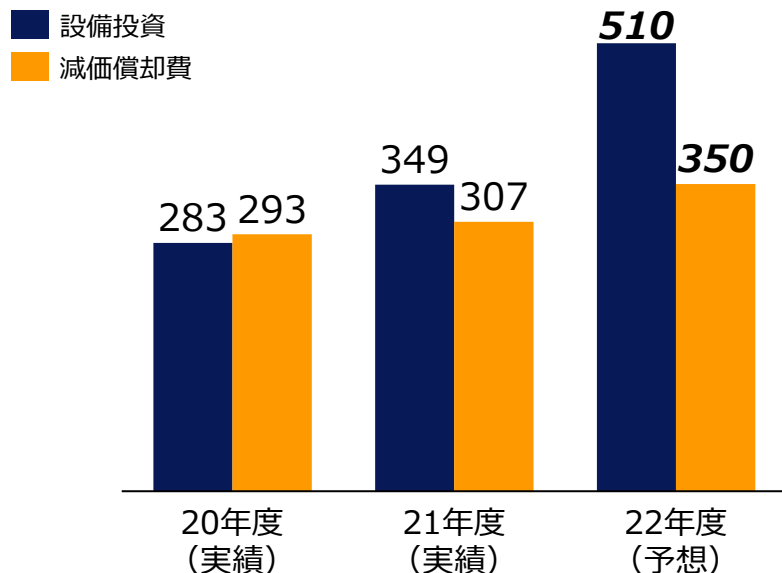
	22年3月末	22年12月末	増減
ネット・キャッシュ	1,271	646	▲625
株主資本比率	69.2%	70.0%	0.8%
ROE	11.7%	-	-

棚卸資産推移

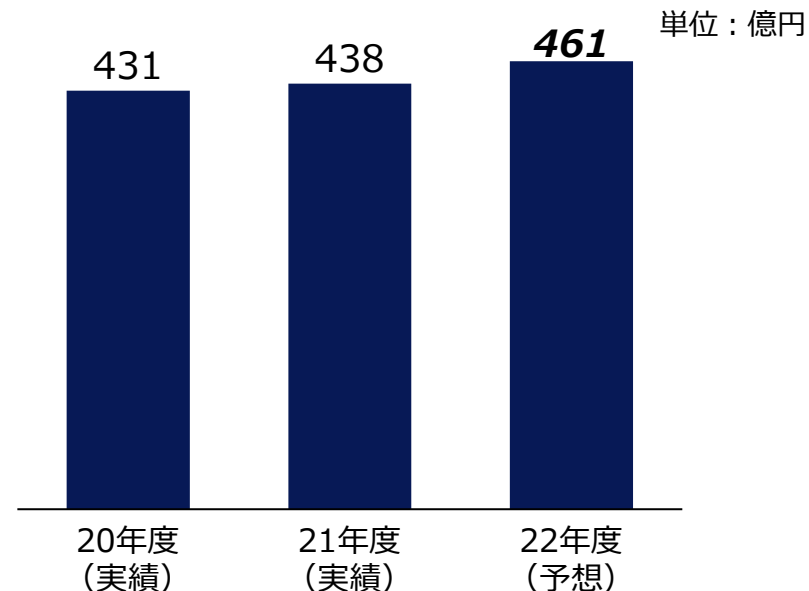


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

設備投資・減価償却費



研究開発費



設備投資内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	52	68	113
民生用領域他	231	281	397
計	283	349	510

研究開発費内訳

	20年度	21年度	22年度
産業用領域	91	103	129
民生用領域他	340	335	332
計	431	438	461

*産業用領域は、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

セグメント業績概要

プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

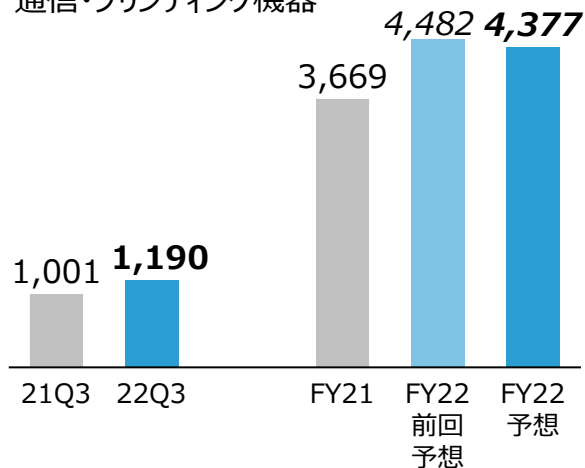
単位：億円

	21Q3	22Q3	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,149	1,337	16.4%	1.2%
通信・プリンティング機器	1,001	1,190	18.9%	3.3%
米州	357	472	32.4%	8.1%
欧州	330	369	12.1%	1.3%
アジア他	176	217	23.6%	9.3%
日本 (OEMを含む)	139	131	-5.9%	-11.5%
ラベリング	148	148	-0.4%	-13.2%
米州	65	64	-2.1%	-20.2%
欧州	46	49	6.7%	-3.2%
アジア他	24	23	-3.5%	-14.6%
日本	13	11	-11.1%	-11.1%
事業セグメント利益	178	91	-49.0%	-
営業利益	179	102	-42.9%	-

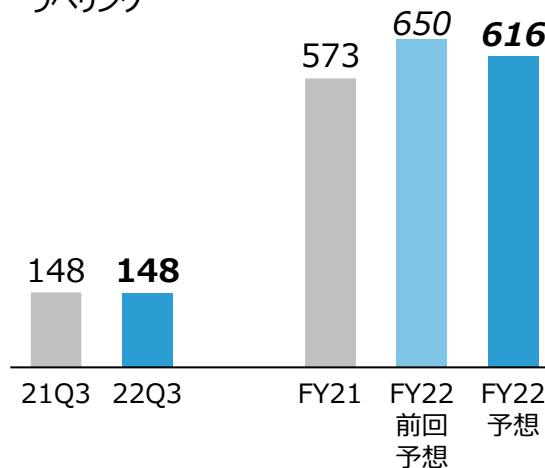
	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	4,242	5,132	4,993	17.7%	4.6%
通信・プリンティング機器	3,669	4,482	4,377	19.3%	6.0%
米州	1,307	1,800	1,741	33.2%	12.2%
欧州	1,210	1,335	1,332	10.1%	2.4%
アジア他	698	860	839	20.3%	7.0%
日本 (OEMを含む)	455	486	465	2.2%	-3.7%
ラベリング	573	650	616	7.4%	-4.6%
米州	260	321	289	11.3%	-6.4%
欧州	173	181	182	5.2%	-1.8%
アジア他	91	102	99	8.2%	-3.8%
日本	49	47	46	-6.4%	-6.4%
事業セグメント利益	598	430	370	-38.1%	-
営業利益	594	430	376	-36.7%	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

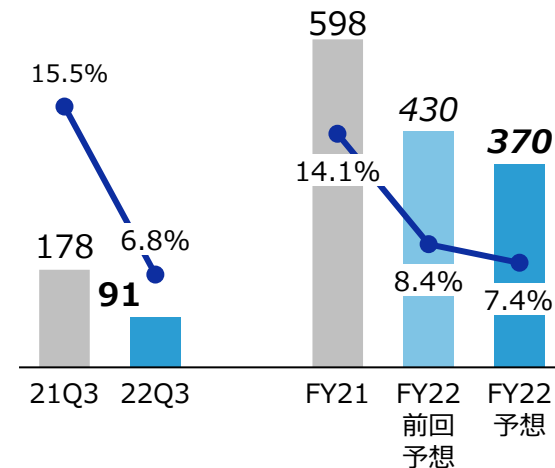


ラベリング



<事業セグメント利益>

● 利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	20通期	21通期
LBP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	6%	19%	18%	18%	-10%	-4%	-9%	-8%	41%	45%	42%	-	15%	-8%
消耗品	-18%	1%	0%	-1%	21%	15%	14%	16%	18%	-8%	0%	-	-5%	16%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	11%	22%	21%	18%	-16%	-9%	-15%	-13%	25%	23%	21%	-	18%	-13%
消耗品	-15%	2%	2%	-3%	12%	9%	6%	9%	7%	-20%	-13%	-	-4%	9%
IJP														
売上伸び率（円ベース/前年比）														
本体	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	95%	17%	15%	18%	32%	46%	-	-25%	45%
消耗品	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-6%	-3%	2%	19%	-2%	8%	-	-5%	0%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）														
本体	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	87%	11%	10%	8%	16%	30%	-	-23%	38%
消耗品	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-10%	-7%	-2%	11%	-12%	-2%	-	-5%	-4%
消耗品比率	55%	57%	55%	56%	56%	57%	58%	59%	53%	47%	49%	-	55%	57%
販売台数伸び率（前年比）														
LBP	12%	10%	6%	0%	-28%	-16%	-20%	-16%	14%	9%	3%	-	7%	-20%
IJP	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	101%	1%	7%	8%	16%	42%	-	-36%	34%

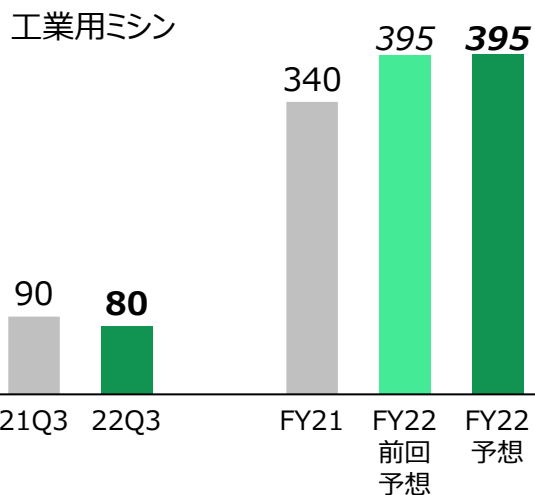
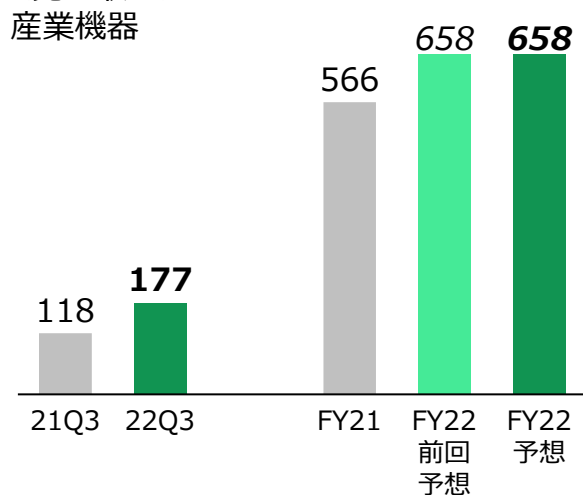
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

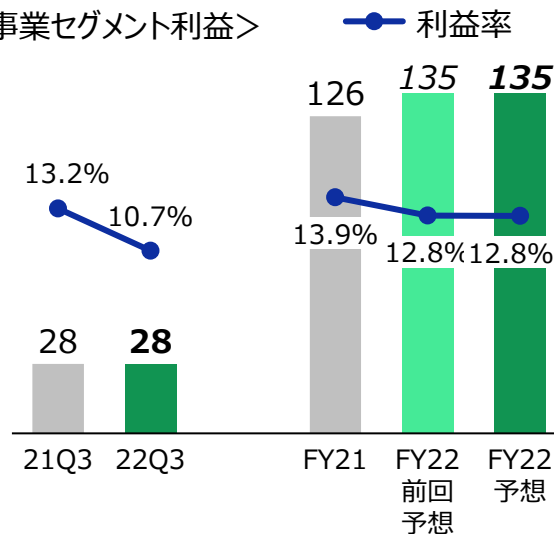
	21Q3	22Q3	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	208	257	23.3%	15.1%
産業機器	118	177	50.2%	45.7%
米州	7	13	78.7%	-
欧州	9	12	29.4%	-
アジア他	81	123	52.3%	-
日本	21	30	41.3%	-
工業用マシン	90	80	-11.9%	-24.8%
米州	28	28	0.2%	-19.1%
欧州	22	17	-23.3%	-30.3%
アジア他	38	31	-19.2%	-31.6%
日本	2	4	67.8%	67.8%
事業セグメント利益	28	28	0.2%	-
営業利益	28	26	-6.9%	-

	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	905	1,053	1,053	16.3%	7.7%
産業機器	566	658	658	16.4%	11.4%
米州	33	35	35	7.2%	-
欧州	34	35	35	2.8%	-
アジア他	408	444	444	8.7%	-
日本	90	143	143	59.5%	-
工業用マシン	340	395	395	16.1%	1.6%
米州	94	115	115	22.6%	2.6%
欧州	72	80	80	10.4%	4.8%
アジア他	159	182	182	14.4%	-2.3%
日本	15	18	18	21.3%	21.3%
事業セグメント利益	126	135	135	7.6%	-
営業利益	126	136	136	7.3%	-

<売上収益>



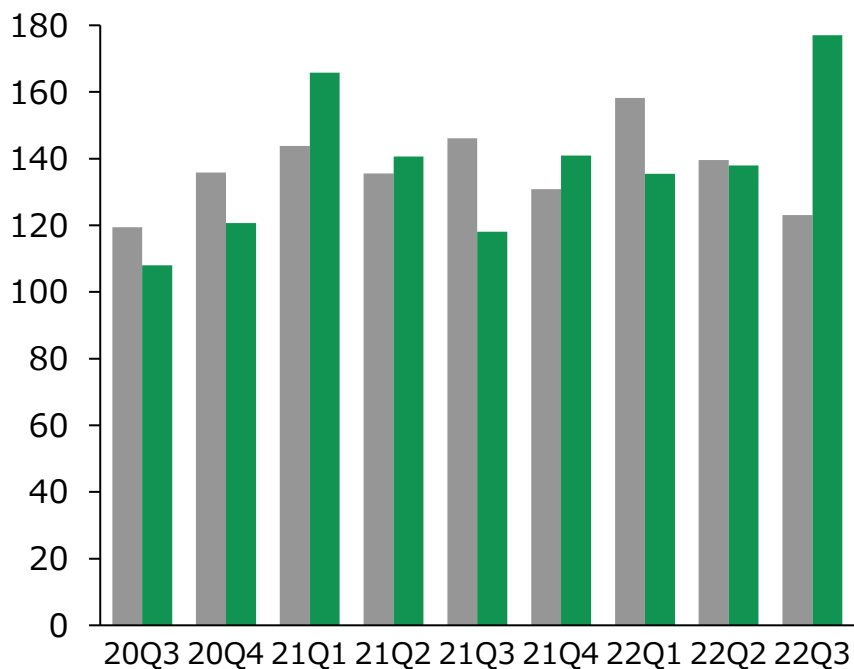
<事業セグメント利益>



単位：億円

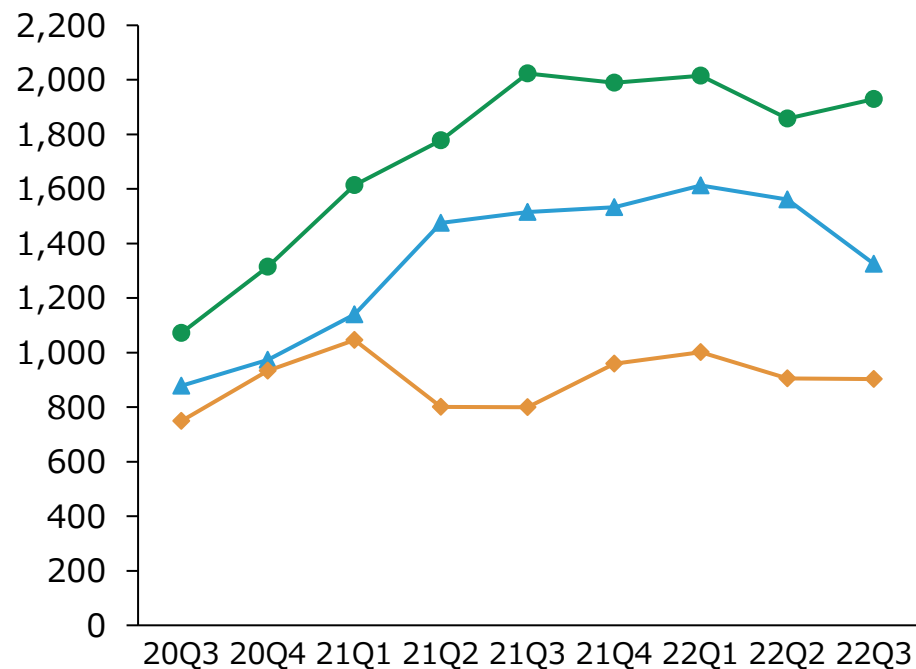
受注額・売上収益の推移

■ 受注額 ■ 売上収益



(参考) 日工会受注統計

▲ 内需 ● 中国を除く外需 ◆ 中国



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

ドミノ事業

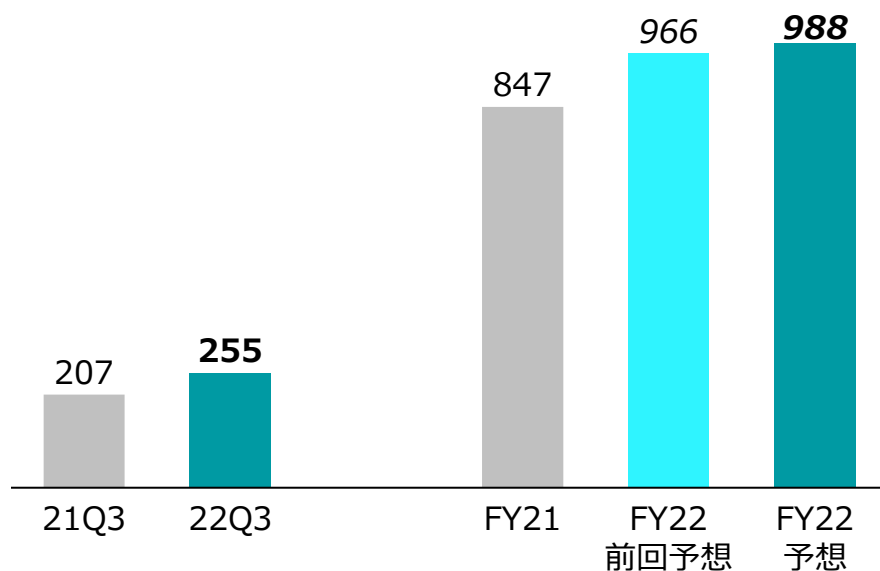
売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

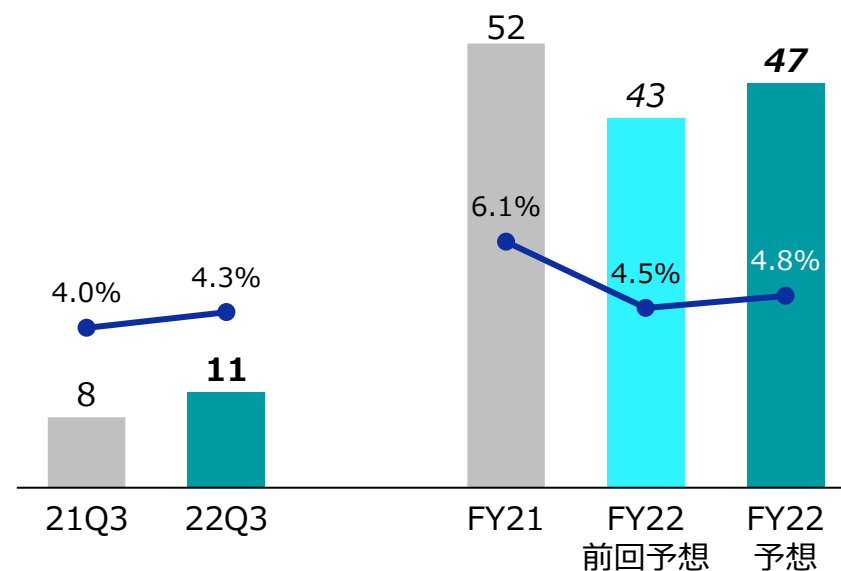
	21Q3	22Q3	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	207	255	22.9%	8.2%
米州	47	63	35.4%	19.4%
欧州	92	108	17.4%	4.3%
アジア他	61	73	19.3%	1.7%
日本	7	10	42.9%	42.9%
事業セグメント利益	8	11	35.1%	-
営業利益	8	3	-63.1%	-

	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	847	966	988	16.6%	5.5%
米州	202	233	238	17.7%	5.9%
欧州	379	416	428	12.9%	3.1%
アジア他	237	276	282	19.0%	4.8%
日本	30	41	41	36.8%	36.8%
事業セグメント利益	52	43	47	-9.4%	-
営業利益	43	42	47	8.5%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率

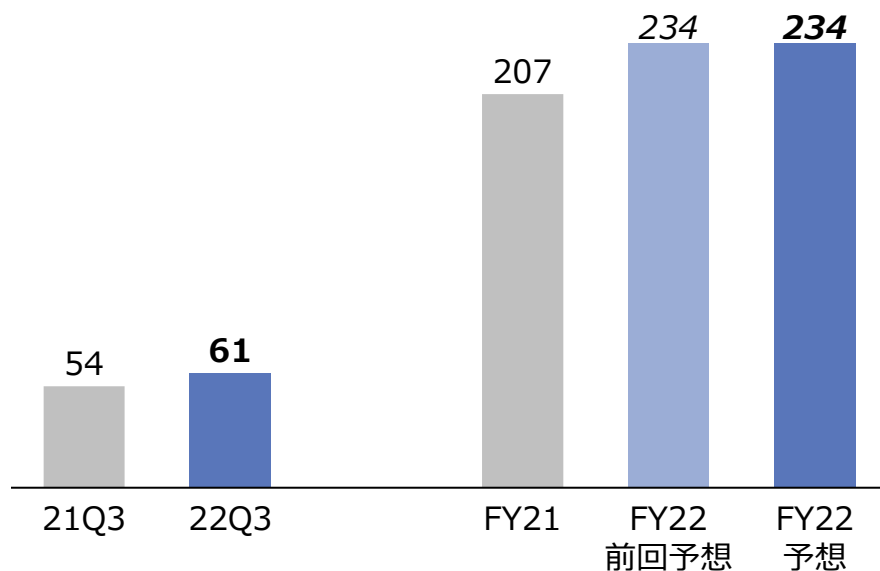


単位：億円

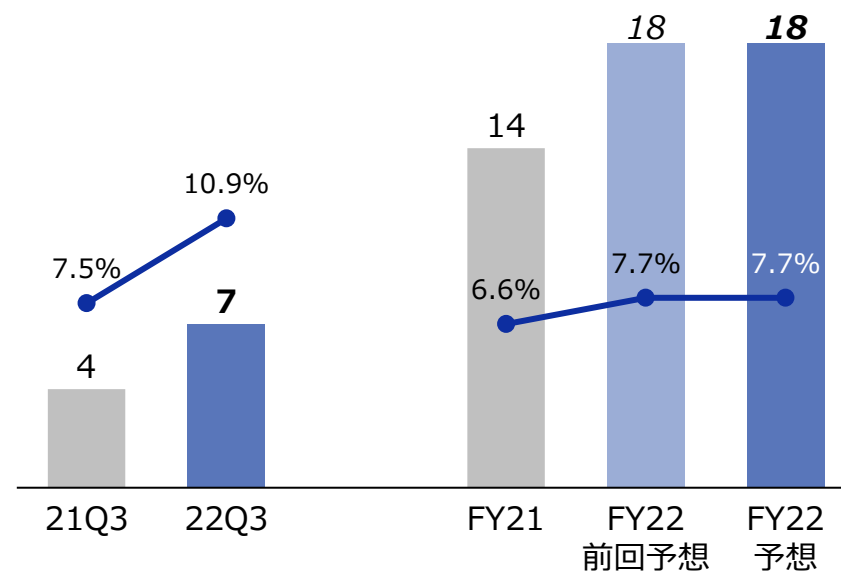
	21Q3	22Q3	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	54	61	13.2%	7.6%
米州	7	11	58.0%	26.9%
欧州	-	-	-	-
アジア他	8	10	24.8%	14.0%
日本	39	40	2.8%	2.8%
事業セグメント利益	4	7	65.3%	-
営業利益	4	7	56.1%	-

	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	207	234	234	12.8%	8.3%
米州	30	37	38	25.3%	3.9%
欧州	-	-	-	-	-
アジア他	28	35	36	28.5%	16.8%
日本	149	162	160	7.5%	7.5%
事業セグメント利益	14	18	18	30.8%	-
営業利益	13	16	17	26.0%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



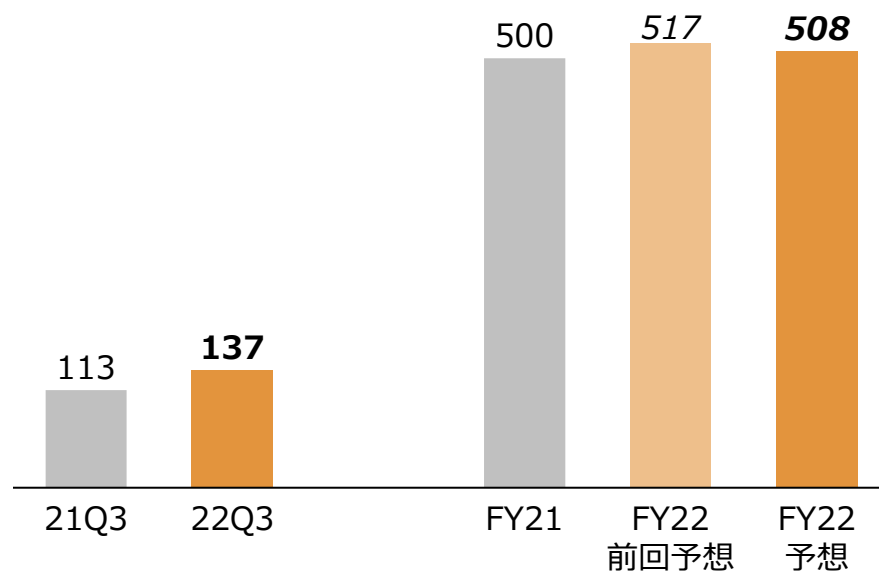
パーソナル&ホーム事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

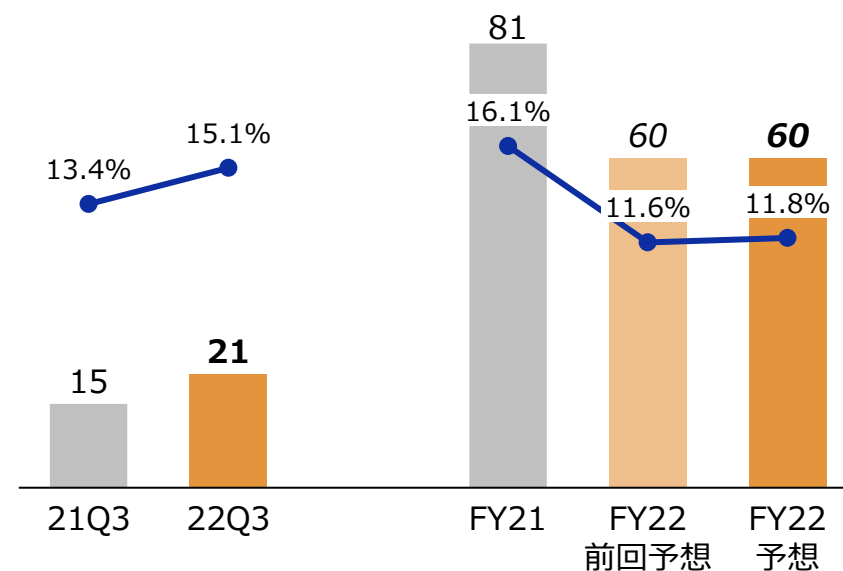
	21Q3	22Q3	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	113	137	20.8%	2.8%
米州	63	84	33.8%	8.5%
欧州	31	33	3.5%	-6.1%
アジア他	13	14	5.3%	-6.1%
日本	6	6	9.3%	9.3%
事業セグメント利益	15	21	36.2%	-
営業利益	16	21	33.6%	-

	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	500	517	508	1.6%	-11.2%
米州	277	325	317	14.5%	-4.3%
欧州	140	106	108	-22.8%	-27.8%
アジア他	52	55	53	3.2%	-6.8%
日本	31	31	29	-5.7%	-5.7%
事業セグメント利益	81	60	60	-25.7%	-
営業利益	82	60	61	-25.7%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



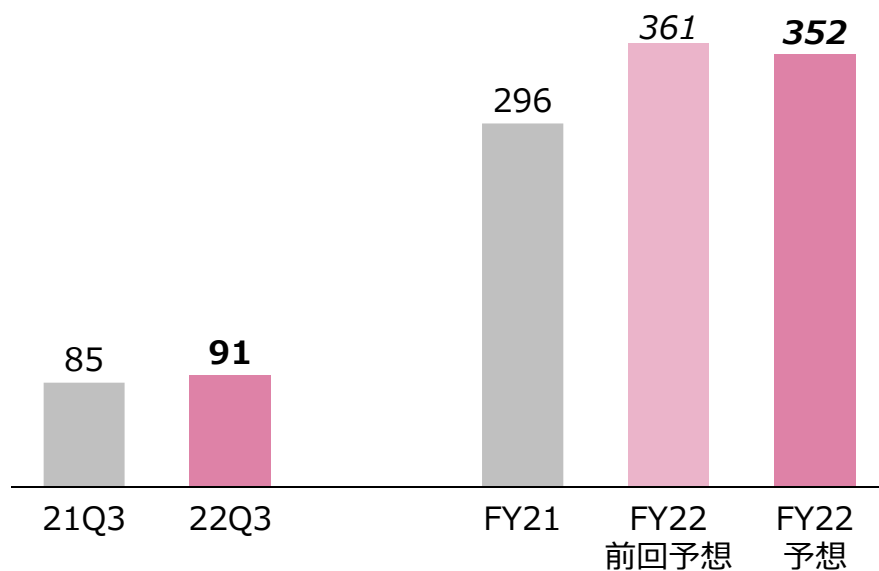
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

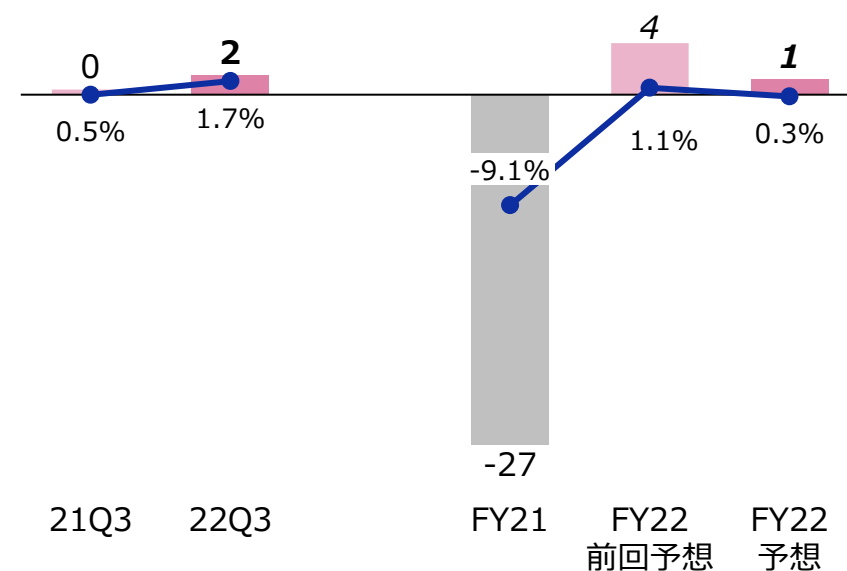
	21Q3	22Q3	増減率
売上収益	85	91	6.8%
事業セグメント利益	0	2	265.2%
営業利益	12	1	-91.1%

	FY21	FY22 前回予想	FY22予想	対前年 増減率
売上収益	296	361	352	19.1%
事業セグメント利益	-27	4	1	-
営業利益	-6	4	4	-

<売上収益>



<事業セグメント利益> ● 利益率



トピックス

インクジェット生産基盤のさらなる強化に向けて、星崎工場の新工場棟が完成



星崎新工場棟（第13工場）



屋上の太陽光パネル

用途 : インクジェットヘッドおよび
関連部品の生産
投資額 : 約100億円
稼働開始 : 2023年1月

■ マテリアリティに関連する取り組み

- **BCP対応**の一環として、ブラザーグループ初の**免震構造**を採用
- **太陽光パネル**の設置により年間約**60トンのCO₂排出削減**を実現

産業機器事業の大幅成長に向けて、
自動車・オートバイ市場を中心に成長が見込まれるインドに新工場を建設



完成イメージ

用途 : 工作機械の生産
投資額 : 約20億円
竣工予定 : 2024年9月
場所 : ベンガルール近郊（トムクール地区）



■ マテリアリティに関連する取り組み

- インドのお客様に、**より短納期**で製品をお届けできる体制を構築
- **太陽光パネル**の設置により**年間約600トンのCO₂排出削減**を実現

brother
at your side

ビジネス領域

事業

分野（主な製品・サービス群）

産業用領域	マシナリー・FA 領域	ニッセイ	<p>減速機 歯車 工作機械 工業用ミシン</p>		
産業用印刷領域	産業用印刷領域	マシナリー 産業機器 工業用ミシン 工業用ミシン 工業用ミシン ゲームプリンター	<p>ゲームプリンター コーディング・マーキング機器 デジタル印刷機</p>		
民生用領域	プリンティング領域	ドミノ P&S (プリンティング&ソリューションズ) ラベリング 業務用ラベリング 汎用ラベリング 通信・プリンティング	<p>業務用ラベルプリンター モバイルプリンター ラベルライター プリンター 複合機</p>		
ホーム・カルチャー領域		P&H (パーソナル&ホーム) N&C (ネットワーク&コンテンツ)	<p>家庭用ミシン カuttingマシン 通信カラオケ機器</p>		